

研究課題評価における評価の視点と基準について（重点研究課題の事前評価を除く）

○事前評価

| 評価項目 | 評価の視点 | 評価基準 (項目毎) | 評価 |
|-----------|---|----------------------------|---|
| 緊急性・必要性 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急に課題解決が求められているか ・企業、団体等の要望や本道の行政課題、技術動向などから優先的に取り組む必要があるか | (a) 高い (b) 標準 (c) 低い | (A) 優先的に取り組む必要がある (B) 早期に取り組む必要がある (C) 課題化に向けさらに検討する必要がある |
| 研究計画の適切性 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究目標の設定が適切であるか ・研究手法が適切であるか ・役割分担・外部との連携が適切であるか | | |
| 成果の活用の可能性 | <ul style="list-style-type: none"> ・本道産業の振興、道民生活の向上や道などの施策の推進に貢献できる見込みがあるか ・基盤的な技術として活用が見込まれるか（基盤的研究） | | |

○中間評価

| 評価項目 | 評価の視点 | 評価基準 (項目毎) | 評価 |
|------------|---|----------------------------|---|
| 研究の進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画どおりに研究が進捗しているか ・状況の変化を的確に把握して適切な対応がなされているか | (a) 高い (b) 標準 (c) 低い | (A) 当初の目標以上の成果が見込まれる (B) 当初目標の成果が見込まれる (C) 当初目標の達成が困難であり、見直しが必要である。 |
| 研究目標の達成見込み | <ul style="list-style-type: none"> ・当初目標を達成できる見込みがあるか | | |
| 成果の活用の可能性 | <ul style="list-style-type: none"> ・本道産業の振興、道民生活の向上や道などの施策の推進に貢献できる見込みがあるか ・基盤的な技術として活用が見込まれるか（基盤的研究） | | |

○事後評価

| 評価項目 | 評価の視点 | 評価基準 (項目毎) | 評価 |
|-----------|---|----------------------------|--|
| 実施内容の妥当性 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するための研究手法が適切であったか ・状況の変化を的確に把握して適切に対応したか | (a) 高い (b) 標準 (c) 低い | (A) 当初の目標以上の成果が得られている (B) 当初目標の成果が得られている (C) 当初の目標どおりの成果が得られていない |
| 研究目標の達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標を達成しているか | | |
| 成果の活用の可能性 | <ul style="list-style-type: none"> ・本道産業の振興、道民生活の向上や道などの施策の推進に貢献できる成果であるか ・基盤的な技術として活用でき、さらなる発展や展開が見込まれる成果であるか（基盤的研究） | | |

研究課題評価における評価の視点と基準について（重点研究課題の事前評価）

○事前評価

| 評価項目 | 評価の視点 | | 評価基準 (項目毎) | 評価 |
|---------------|----------------------|---|----------------------------|--|
| 緊急性・必要性 | 提案課題の明確性 | 提案課題が道総研で実施すべき課題であるかが明確か | 5段階評価 1（低） ～ 5（高） | (A) 優先的に取り組む必要がある (B) 早期に取り組む必要がある (C) 課題化に向けさらに検討する必要がある |
| 研究計画の 適切性 | 研究目標および 研究項目の妥当性 | 研究目標が適切で、それを達成するために適切な研究項目が設定されているか | 同上 | |
| | 計画の科学的妥当性 | 科学的に適切な研究方法がとられているか | 同上 | |
| | 実施体制の妥当性 | 予算、体制、および実施期間が妥当であるか | 同上 | |
| 成果の活用の 可能性 | 成果の道民生活・ 産業への貢献程度 | 提案課題の成果が本道の産業振興や社会課題の問題解決に寄与することが期待できるか | 同上 | |

評価方法

- ・5つの評価の視点について1～5点で採点し、合計点数を算出（25点満点）
- ・理事長により最終評価（A、B、Cの3段階）を決定する。
 - A：優先的に取り組む必要がある
 - B：早期に取り組む必要がある
 - C：課題化に向けさらに検討する必要がある（→不採択）